

一般社団法人ロボカップジュニア・ジャパン
平成28年度第4回理事会議事録

1. 日 時 : 2016年9月4日(日) 13:00~16:10

2. 場 所 : 大阪市北区豊崎3-20-1 インターグループビル1階 南館

3. 出席者

(1) 本人出席者 7名

高橋友一、今井俊二、北原達正、島谷太、野村泰朗、平光宗基、丹羽尚子、

(2) 委任状提出者 2名

中島晃芳、松原仁

(3) 理事以外出席者 7名

金田忠裕(監事)、蟬正敏(監事)、水野勝教(ワーキンググループメンバー)、竹間直美(ワーキンググループメンバー)、前田正久(事務局長)、浅沼まり(事務局)、藤村晶子(事務局)

3. 議 事

1. 世界大会について

- ・2016世界大会報告
- ・2017世界大会状況報告
Junior国際の動向
会場などのLOC

2. 2017ジャパンオープンについて

- ・中津川の状況
- ・各チャレンジのルール検討状況報告
- ・Lipoの扱いについて

3. HPについて

- ・RoboCupなどの名称の扱いについて
- ・外部HPの引用について

4. 前回からの継続案件について

- ・会員募集状況報告、アンケートまとめ
- ・会員登録、ジャパンオープン登録・賞状印刷システムについて
- ・ビギナーズリーグの充実
- ・国内組織について(福井ノード、ブロックの構成)
- ・各チャレンジの会議場でのメンバー管理方法について

5. その他

- ・議事録署名人の選定
- ・次年度役員改選に向けての選考手順

4. 資 料

資料1. 2016世界大会報告

資料3. 2017ジャパンオープン資料

資料4. 各チャレンジのルール検討状況報告、Lipoの扱い、ビギナーズリーグについて

資料5. RoboCupなどの名称の扱いについて

資料6. 「関西ブロック充電池規制について」HP更新の経過について

- 資料7. 2015会員アンケート結果
- 資料8. 会員登録、ジャパンオープン登録・賞状印刷システムについて
- 資料9. 国内組織について、ブロック別参加チーム数一覧
- 資料10. 各チャレンジの会議場でのメンバー管理方法について
- 資料11. 次年度役員改選に向けての選考手順

6. 議事概要

(1) 議長の選出

①高橋代表理事が開会を宣言し、本総会は、定款第18条の規定を満足しており、成立していることを報告した。

(2) 世界大会について

①水野氏より、資料1に基づき2016世界大会について、ツアーを2つのグループに分かれ、フライト、ホテルとも違ったが、特に問題もなく帰国できた旨報告がなされた。

②野村理事より、2016世界大会は全体的にスムーズな運営だった。要因としては、ドイツオープン等の大会でのボランティア経験者が多かったことと、案内システムの導入が挙げられた。また、ジュニアリーグの規模を運営上の観点から2019年の世界大会までに「14歳以上かつチームメンバー2~6人」にするとし、毎年年齢制限の下限を引き上げるとしているが、2016世界大会の運営状況から見直しの意見もあり、現在Trusteeで議論しており、9月末までには結論を出す予定であると報告がなされた。

③高橋代表理事より、2017世界大会において審判・インタビュアー等競技運営に関わるボランティアの必要数は100名程度で、うち海外ボランティア受け入れは30名規模であること。国内ボランティア(最大70名程)に関しては、ジャパンオープン時から世界大会に向けて確保できるように進める等、今後検討すべき事項について確認がなされた。これらを具体的に進めるにあたり、LOCとしての案をTrusteeに提示することを検討することとなった。

(3) 2017ジャパンオープンについて

①前田事務局長より、資料3に基づき、2017ジャパンオープンの状況について報告がなされた。

- ・日時、会場についてはHPで周知する。一方で、JR中津川駅から会場への公共交通手段はなく、宿泊施設数も少ないことから、今後移送バスの運行、宿泊施設の確保等検討していく必要がある。これについては、中津川商工会議所と連絡を取り合って進める。

- ・競技専門部会を現地で開催する必要がある、参加者は各チャレンジの技術委員の中から出席してもらえるよう、後藤岐阜ブロック長・平光理事・丹羽理事で日程を調整する。

- ・中津川からの要請で、一般の見学者が見てロボットと認識するメジャーのヒューマノイド等のパフォーマンスの実施を検討する。

- ・ボランティアスタッフについて、テクニカルボランティアはRCJJで、一般ボランティアは中津川で確保することが確認された。ジャパンオープンでのテクニカルボランティアに世界大会でも協力してもらえるよう、交通費・宿泊費等のインセンティブも含めて検討していくこととなった。

- ・大会キャラクターの作成・ロゴ使用に際し、申出手順を明確にすることが必要であるとされた。キャラクターについては、RCJJは意見を述べることはできるが、拒否権は持たないことが確認された。

②丹羽理事より、資料4に基づき、以下の通り報告がなされた。

- ・各チャレンジのルール検討状況について、2017年1月末までに国際ルールが発表された場合、2017国際ルールを適用する意向であることが報告された。

- ・ビギナーズリーグの名称について、現在、競技毎に異なる名称のため、今後は新名称「Nippon League」で統一することが確認された。これまで同様Nippon League運営の目的はロボカップの普及であり、年齢・チーム人数いずれも制限を設けない(チーム人数には上限を定める)。これに対し各チャレンジごとの世界大会への選抜を主目的とした競技の呼称も「World League」に変更・統一し、この「World League」での成績上位者の中から世界大会への参加チームを選抜する。ただし世界大会の参加資格を満たさないチーム又は個人への選抜を行わない。これらを一週間を目処に担当理事(野村理事・中島理事・丹羽理事)より、各技術委員会に理事会としての意見を伝え、9月末までには決定してもらうこととなった。

- ・電池の車検については、基本的にサッカーで決定したものを他チャレンジにも適用することとする。これについても9月中に各チャレンジで議論を進めてもらうこととなった。

(4) HPについて

①高橋代表理事より、資料5に基づき、RoboCupなどの名称の扱いについて報告がなされた。ロボカップの商標利用については、明確な規定の元、適切に行われることが確認された。

②蟬監事より、資料6に基づき、「関西ブロック充電電池規制について」HP更新の経過について報告がなされた。今後関西ブロックより改めて出される予定の「電池規制案」は、先ず技術委員会に関西ブロックの規制案として諮ることが報告された。

(5) 前回からの継続案件について

①資料7に基づき、浅沼事務局員より、2015会員アンケート結果及び現時点での会員申込数について報告がなされた。寄せられた意見の内、改善可能なものは今後対応していくこととした。また、年次報告書の送付について、会員期間との兼ね合いから、現状会員年度の前年大会が記載された年次報告書が届けられるため、今後は前年度と当該年度の両方を送付する方向で検討していくこととなった。

②野村理事より、資料8に基づき、賞状印刷マニュアルが完成した旨報告がなされた。また、賞状印刷マニュアルを作成した小山氏に対し、請求があり次第、資料作成費を支払うことが確認された。

③今井理事より、資料8に基づき、会員登録、ジャパンオープン登録について報告がなされた。ジャパンオープン登録については、システム構築費用の点から、現行の入力フォームを元に、現在の運用上の問題点(二重登録、参加費が手計算である、最終確認画面が表示されない等)の改善策を、今井理事・北原理事で検討することとなった。

④平光理事より、資料9に基づき、国内組織について報告がなされた。

・今年度2016ジャパンオープン開催時に行ったブロック長へのヒアリングで、チーム集めが困難であるとの声があったことの報告があった。2017年ジャパンオープン時にはブロック再編成についてのヒアリングを実施するために、平光理事がRCJJとしての指針、それに基づく具体案を作成、年末を目処に提示し、ヒアリングを実施することとなった。

・福井ノード立ち上げについては、代表者を決定し組織を作るよう要請してある。11月末までに福井ノードより所属ブロックに関して意見がなく、申請があれば、理事会として岐阜ブロックの1ノードとしてノード立ち上げを承認することとした。

・2017ノード・ブロック大会の日程については、競技担当理事(野村理事・中島理事・丹羽理事)が確認する。

⑤丹羽理事より、資料10に基づき、各チャレンジの会議場でのメンバー管理方法について、提案がなされた。現状の技術委員長及び技術委員を正確に把握できておらず、従来の管理方法では問題点がある。また現在作成中の内規には技術委員の任期の記載がないため、内規に追加することとなった。10月の理事会までに内規改定案をRCJJ運営マニュアル(5版)として、水野氏・竹間氏に検討してもらうこととなった。

(6) その他

①丹羽理事より、資料11に基づき、次年度役員改選に向けての選考手順の照会と、今後の2017年名古屋世界大会やアジア大会等に向けた体制について意見が出された。次回理事会までに改選手順を事務局でまとめることとなった。

②次回理事会は10月30日(日)に開催することとした。

(7) 議事録署名人の選任

閉会にあたって議長から、本日の議事録署名人として、島谷太氏、及び野村泰朗氏にお願いすることとなった。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成28年9月4日

議長 高橋 友一

議事録署名人 島谷 太

同 野村 泰朗

